

## 教室1 学校活用プロジェクト「教室活用プランづくり&DIY」 第4回レポート

第4回「教室活用プランづくり&DIY」は、講師の足利さんによる「家」のお話でスタートしました。

まず飛び出した言葉は「高知パリ化計画」。高知にエッフェル塔を建てる話ではなくて、いずれ高知の町が世界遺産になったらいいな、それってどうやったらできるのかな、というお話でした。

そのためには、地域の材料を使うことと、人が中心の生活しやすい家にする必要があるそうです。

パリ、ヴェネチア、アムステルダムはレンガ、オーストリアやドイツは木など、地域によって手に入りやすい材料で家が作られているとのことでした。



また、良い家とは住むのにお金がかからない家で、寒い地域だと暖房でお金がかかるため、蓄熱と断熱が大切とのこと。柱や壁の厚みについて教えてくださいました。

今の日本の家は高気密高断熱と言われていますが、魔法瓶のようなものだそうで、断熱材の処分の問題や、内部結露などもあるそうです。木や土、石などの自然素材を使うことで解決できるのではないかとおっしゃっていました。

お話の後は作業に取りかかります。

椅子が完成していない人は椅子づくり、完成している人は他の受講生のお手伝い。そしてテーブルづくりに取り組むことになりました。

椅子を完成させたはずの受講生が、新たな材料を前に何やら考え込んでいます。何か作るつもりでしょうか？



こちらは、前回に引き続き、砕いたグラスやお皿の破片を机に貼り付けています。

3人になって大幅にスピードアップしたようで、「ひとりでやってるときは永遠に思えたのに、みんなでやればあっという間やね！」と、完成を喜んでいました。



こちらは机づくり。足の部分は廃材、天板は購入した板を使用します。このままでも十分机になるのですが、受講生が天板のデザインをすることになりました。担当するのはプレ開校でも大活躍だった女の子コンビ。タブレットを見ながらチョークで下絵を描いていきます。どんな形になるのか楽しみです。



校庭の作業場を見ると、なんと本棚ができています！聞くと、前回フィールドワークで行った「みなや」で、本棚が欲しいというリクエストに応じて作ったとのこと。不要になった引き出しを再利用した本棚は、みなやの雰囲気にもピッタリですね。短時間で出来たのも驚きです。すごい！

時間も終盤になった頃、机づくり担当の二人が、くり抜いた板に紙やすりをかけています。これは何の形かな？くり抜いた天板はどうなるのでしょうか？

二人に近づくと、「誕生日いつ？」なんて聞こえてきて、話に花が咲いているようでした。こうちみませ楽舎は新しい友達づくりの場でもあるんですね。



今回は椅子を完成させ、題名を付けます。ラストスパートですね。